

平成26年度 事業報告

1. 公益目的事業の推進

本財団の事業は、広島原爆被爆の記憶を原点として、世界平和都市広島としての責任と義務を果たすべく、国際平和の実現とより密接な国際交流を図り、平和の啓発活動を推進するため、下記の事業を実施した。

(1) 第26回 谷本清平和賞

この賞は、本財団の発起人であり日本キリスト教団広島流川教会の牧師であった谷本清氏が、被爆後世界平和のために活躍された功績を継承し、さらに世界が平和であることを願って、毎年平和のために貢献した人(含む団体)を表彰する。

第26回目の谷本清平和賞は、永年カナダに在住し、北米を中心に自らの被爆体験をもとにヒロシマの実情を語り伝え、また主要な国際会議等において反戦反核を積極的に訴え続けられている『サーロ一節子』氏に決定し、2014年11月16日谷本清平和賞を授与した。

(2) 第25回 世界平和弁論大会

世界平和に対する関心を高め、平和の意識を高揚し啓発することを目的として、在広留学生による第25回日本語による「世界平和弁論大会」を開催した。11カ国から14名が発表した。

第1位 任 欣雨(ニン キンウ)	(中国出身・舟入高校)
第2位 ボラトワ シャリアット	(カザフスタン出身・山陽女学園高等部)
第3位 ステファニー クランペ	(ドイツ出身・三次高校)
第4位 チェルナイ マイケ ヴァネッサ	(ドイツ出身・山陽女学園高等部)
レフレル エミル ビクトル	(スウェーデン出身・賀茂高校)
ジュリア フラカッシ	(カナダ出身・山陽女学園高等部)
ナッタワディー ジャンモー	(タイ出身・広島女学院高校)
エクラコワ イリナ	(ロシア出身・武田高校)
ジョナサン ヴアレリア	(アメリカ出身・舟入高校)
アントヒ テインカ	(モルドバ出身・山陽女学園高等部)
シニ ニソネン	(フィンランド出身・広島県瀬戸内高校)
マリア フェルナンダ パーティダ ニエバス	(メキシコ出身・鈴峯女子高校)
セーガー ララ	(ドイツ出身・山陽女学園高等部)
馬 馳 (バ チ)	(中国出身・広島工業大学)